

日建連の 社会貢献活動



日建連は社会貢献活動を推進しています

平成30年4月

一般社団法人日本建設業連合会

総目次

I. 日建連 社会貢献活動協議会としての活動	1
(1) 文化的建造物の保存協力ボランティア活動	
(2) 寄付活動	
II. 社会貢献活動協議会会員会社の社会貢献活動事例	20
III. 社会貢献活動協議会以外の会員会社の社会貢献活動事例	138

社会貢献活動協議会会員会社の社会貢献活動事例

【あ行】		株式会社竹中土木	…… 82
あ アイサワ工業株式会社	…… 20	て 鉄建建設株式会社	…… 84
青木あすなろ建設株式会社	…… 22	と 東亜建設工業株式会社	…… 86
あおみ建設株式会社	…… 24	東急建設株式会社	…… 88
株式会社浅沼組	…… 26	東洋建設株式会社	…… 90
安藤ハザマ(株式会社安藤・間)	…… 28	戸田建設株式会社	…… 92
い 伊藤組土建株式会社	…… 30	飛鳥建設株式会社	…… 94
岩田地崎建設株式会社	…… 32	【な行】	
え 株式会社エム・テック	…… 34	な 株式会社ナカノフドー建設	…… 96
お 株式会社大林組	…… 36	に 西松建設株式会社	…… 98
株式会社大本組	…… 38	株式会社 NIPPO	…… 100
株式会社奥村組	…… 40	日本国土開発株式会社	…… 102
オリエンタル白石株式会社	…… 42	日本道路株式会社	…… 104
【か行】		【は行】	
か 鹿島建設株式会社	…… 44	は 株式会社長谷エコソリューション	…… 106
鹿島道路株式会社	…… 46	ひ 株式会社ピーエス三菱	…… 108
株木建設株式会社	…… 48	ふ 株式会社福田組	…… 110
き 北野建設株式会社	…… 50	株式会社フジタ	…… 112
く 株式会社熊谷組	…… 52	株式会社不動テトラ	…… 114
こ 株式会社鴻池組	…… 54	ほ 株式会社本間組	…… 116
五洋建設株式会社	…… 56	【ま行】	
【さ行】		ま 前田建設工業株式会社	…… 118
さ 佐藤工業株式会社	…… 58	前田道路株式会社	…… 120
三幸建設工業株式会社	…… 60	松井建設株式会社	…… 122
し 清水建設株式会社	…… 62	株式会社松村組	…… 124
ショーボンド建設株式会社	…… 64	み 三井住友建設株式会社	…… 126
せ 西武建設株式会社	…… 66	みらい建設工業株式会社	…… 128
株式会社銭高組	…… 68	む 村本建設株式会社	…… 130
【た行】		【や行】	
た 大成建設株式会社	…… 70	よ 寄神建設株式会社	…… 132
大成ロテック株式会社	…… 72	【わ行】	
大日本土木株式会社	…… 74	わ 若築建設株式会社	…… 134
大豊建設株式会社	…… 76		
高松建設株式会社	…… 78		
株式会社竹中工務店	…… 80		
			以上 58社

社会貢献活動協議会以外の会員会社の社会貢献活動事例

【あ行】

あ	株式会社浅川組	……	138
	株式会社新井組	……	139
	荒井建設株式会社	……	140
い	勇建設株式会社	……	141
う	株式会社植木組	……	142
え	株式会社N B建設	……	143
お	大林道路株式会社	……	144
	奥村組土木興業株式会社	……	145

【か行】

か	株式会社ガイアート	……	146
	株式会社加賀田組	……	147
け	京王建設株式会社	……	148
こ	広成建設株式会社	……	149

【さ行】

さ	坂田建設株式会社	……	150
	三軌建設株式会社	……	151
し	新谷建設株式会社	……	152
せ	仙建工業株式会社	……	153

【た行】

た	第一建設工業株式会社	……	154
	大末建設株式会社	……	155
	大鉄工業株式会社	……	156
	株式会社田中組	……	157
	田辺建設株式会社	……	158
と	東亜道路工業株式会社	……	159
	東鉄工業株式会社	……	160

【な行】

な	南海辰村建設株式会社	……	161
に	日特建設株式会社	……	162

【は行】

は	株式会社橋本店	……	163
ふ	深田サルベージ建設株式会社	…	164
	株式会社藤木工務店	……	165
	不二建設株式会社	……	166

【ま行】

ま	松尾建設株式会社	……	167
	丸磯建設株式会社	……	168
	丸彦渡辺建設株式会社	……	169
	株式会社丸山工務所	……	170
み	宮坂建設工業株式会社	……	171
め	名工建設株式会社	……	172
も	株式会社守谷商会	……	173

【や行】

や	矢作建設工業株式会社	……	174
ゆ	ユニオン建設株式会社	……	175
よ	株式会社横河ブリッジ	……	176

【ら行】

ら	ライト工業株式会社	……	177
---	-----------	----	-----

以上 40社

I. 日建連 社会貢献活動協議会としての活動

社会貢献活動協議会は、建設業界としての各種の社会貢献活動に関して、寄付要請の受付、要請議案の協議、協力の実施を目的としています。

原則として日建連の正会員である、本会の趣旨に賛同する会社をもって構成しています。

平成30年3月現在 会員58社

アイサワ工業(株)	青木あすなろ建設(株)	あおみ建設(株)
(株) 浅沼組	(株) 安藤・間	伊藤組土建(株)
岩田地崎建設(株)	(株) エム・テック	(株) 大林組
(株) 大本組	(株) 奥村組	オリエンタル白石(株)
鹿島建設(株)	鹿島道路(株)	株木建設(株)
北野建設(株)	(株) 熊谷組	(株) 鴻池組
五洋建設(株)	佐藤工業(株)	三幸建設工業(株)
清水建設(株)	ショーボンド建設(株)	西武建設(株)
(株) 銭高組	大成建設(株)	大成ロテック(株)
大日本土木(株)	大豊建設(株)	高松建設(株)
(株) 竹中工務店	(株) 竹中土木	鉄建建設(株)
東亜建設工業(株)	東急建設(株)	東洋建設(株)
戸田建設(株)	飛鳥建設(株)	(株) ナカノフード建設
西松建設(株)	(株) N I P P O	日本国土開発(株)
日本道路(株)	(株) 長谷エコソリューション	(株) ピーエス三菱
(株) 福田組	(株) フジタ	(株) 不動テトラ
(株) 本間組	前田建設工業(株)	前田道路(株)
松井建設(株)	(株) 松村組	三井住友建設(株)
みらい建設工業(株)	村本建設(株)	寄神建設(株)
若築建設(株)		

(1) 文化的建造物の保存協力ボランティア活動

1. 「旧モーガン邸」庭園清掃ボランティア活動（通算 10 回目）

下草刈り、竹の切断、剪定した枝木の結束 等

＜旧モーガン邸とは＞（神奈川県藤沢市大鋸 1122）

旧モーガン邸は、昭和 6 年に建築家 J. H. モーガンの自邸として建てられました。

モーガン亡き後、何人かの手に渡りましたが、平成 17 年に藤沢市と公益財団法人日本ナショナルトラストが取得、復原改修後に一般公開されることになっていました。ところが、主屋部分が平成 19 年、20 年と二度の火災に遭い、かなりの損傷を受けてしまいました。

現在は、毎月 8 日の一般公開をはじめ、毎月第 3 日曜日に清掃活動、季節ごとのイベントなど、修復再生に向けた活動を行っています。

■平成 30 年 2 月 24 日(土)

参加人数 60 名（会員 17 社・57 名、事務局 3 名）



(2) 寄付活動

No.	要請先	件名
1	公益社団法人東京青年会議所	わんぱく相撲全国大会費募金
2	公益財団法人日本シルバーボランティアズ	事業費募金
3	一般財団法人スポーツ振興資金財団	事業費募金
4	第3回がん撲滅サミット事務局	第3回がん撲滅サミット開催費募金
5	一般財団法人経済広報センター	通常会費
6	防衛懇話会	事業費募金
7	日本赤十字社	事業費募金
8	公益財団法人世界平和研究所	事業費募金
9	一般財団法人産業遺産国民会議	事業費募金
10	フィラデルフィア日米協会	フィラデルフィア松風荘・檜皮葺屋根葺き替え工事募金
11	公益財団法人海外日系人協会	事業費募金
12	社会福祉法人日本いのちの電話	事業費募金
13	公益財団法人日本交響楽振興財団	事業費募金
14	日本聾話学校後援会	支援金募金
15	公益財団法人がんの子どもを守る会	事業費募金
16	公益財団法人日本農林漁業振興会	農林水産祭費用募金
17	公益財団法人警察協会	救済援護等事業資金募金
18	一般社団法人建設広報協会	国土交通行政推進事業協賛金
19	職業訓練法人全国建設産業教育訓練協会	富士教育訓練センター賛助会費
20	公益財団法人全国教諭師連盟	事業費募金
21	明治神宮崇敬会	明治神宮鎮座百年記念事業奉賛募金
22	上智大学アジア人材養成研究センター	アンコール・ワット西参道修復工事募金
23	公益社団法人日本工学アカデミー	グランド再生可能エネルギー2018国際会議募金
	合計 (23件)	

No. 1 公益社団法人東京青年会議所

わんぱく相撲全国大会費募金（昭和62年度～毎年）

わんぱく相撲は、単なるスポーツとしての競技ではなく、試合に挑むことで自分を信じる力を育み、相撲が持つ礼節により相手を思いやる気持ちを学び、大会を支えてくれる人への感謝を大切にするという、勝敗を超えたものを子供達に伝えることを目的としている。

全国各地の青年会議所の協力のもとに、地区大会を開催し、7月末に全国大会を行う。

■第33回わんぱく相撲全国大会

スローガン「夢に向かって熱くなれ！ ～つながりから学ぶ和の心～」

1. 地区大会 平成29年4～6月 約200大会 約4万人参加
2. ブロック大会 平成29年6月 13地域で開催 約1万人参加
3. 全国大会 平成29年7月30日 於：両国国技館
出場選手 450名（150チーム）

写真提供／東京青年会議所



第33回大会

No.2 公益財団法人日本シルバーボランティアズ

事業費募金（昭和55年度～毎年）

定年到達者の知識、経験を活用し、開発途上地域に対して奉仕隊による技術協力を行い、相互理解と友好親善に寄与することを目的としている。

【主な事業】

1. ボランティアの登録事業
2. ボランティア派遣（29年度計画：94名）
3. シニア海外ボランティア派遣事業の受託
4. 内外事情の調査研究および広報
5. 海外技術協力に係る内外諸機関との協力

写真提供／日本シルバーボランティアズ



ベトナム
さくら日本語学校



中国山東省
ブルーベリー栽培指導

No. 4 第3回がん撲滅サミット事務局

第3回がん撲滅サミット開催費募金

がんは、わが国において1981年より死因の第1位となり、国民の二人に一人が罹る国民病とも言われている。近年は医学研究や医療技術の進歩、新薬開発等により必ずしも死に至る病ではなくなりつつあり、完治を目指して治療を続けながら通常生活を営む方々も少なくない。がん患者が増加の一途を辿る現在のがん医療社会に対し、新たな希望となる治療やがんサバイバーの支援や、がんになっても生き生きと活躍できる社会の構築を提言し、実行していくことを目的に、日本のがん医療のトップランナーによる講演を開催した。

■第3回がん撲滅サミット

テーマ「今、日本から始まったがん撲滅への挑戦！」

1. 会期 平成29年11月12日(日)
2. 会場 パシフィコ横浜 メインホール
3. 参加 1,000名

写真提供／がん撲滅サミット事務局



第3回がん撲滅サミット



No.6 防衛懇話会

事業費募金（昭和43年度～毎年）

防衛懇話会は、1965年9月30日経済5団体（経済団体連合会、経済同友会、日本経営者団体連盟、日本・東京商工会議所、日本工業倶楽部）を発起人として設立された団体であり、国防思想の普及を図ると共に、国民と自衛隊の相互理解を深め自衛隊の健全な発展に寄与し、もってわが国の平和と繁栄に貢献することを目的としている。

【主な事業】

1. 防衛問題に関する講演会、懇談会等の開催
2. 部隊見学会の実施（陸海空自衛隊各部隊等）
3. 自衛隊退職者の就職援護協力
4. 遠隔地部隊の慰問激励
5. 国際貢献等派遣隊員激励
6. 防衛省に対する協力事業

写真提供／防衛懇話会



高級幹部会同 内閣総理大臣訓示



大臣招待洋上懇談会 防衛大臣挨拶



自衛隊音楽まつり 自衛隊・米海兵隊・
タイ陸軍・米陸軍合同演奏

No.7 日本赤十字社

事業費募金（平成19年度～毎年）

日本赤十字社は創立以来、世界186カ国の国際赤十字の一員として今日まで140年にわたって、赤十字の理想とする人道的任務を達成するため、地震・風水害等の災害救護、救急医療事業、血液事業、海外での災害・紛争犠牲者に対する国際救援活動など、さまざまな事業の推進に努めてきた。

法人指定事業寄付金として、災害救護資材、救援物資、救急医療体制の整備にあてる。

【平成29年度活動】

1. 国内災害救護体制の充実強化
2. 東日本大震災復興支援事業の実施
3. 海外での救援活動や開発協力
4. 救急法等の普及、人材育成
5. 青少年赤十字防災教育プログラムの推進
6. 赤十字ボランティア活動の創出
7. ユースボランティアの活性化

写真提供／日本赤十字社



国際活動 ハイチ・ハリケーン災害
(C)_IFRC



国内災害救護活動 熊本地震
(C)_Naobumi Chiba

No.9 一般財団法人産業遺産国民会議

事業費募金（平成26年～毎年）

政府は、平成25年9月20日「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」として、8県11市に跨る28の産業遺産ならびに民間の産業設備を、ユネスコの世界遺産として登録すべく推薦を決定。本世界遺産登録の実現を支援するために、平成25年9月10日「一般財団法人産業遺産国民会議」を設立。

平成26年1月17日の閣議において「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」について、推薦書正式版をユネスコ世界遺産センターに提出することを了承。

同年7月には、内閣官房、九州・山口近代化産業遺産世界遺産推進協議会と連携して、諸外国より産業遺産の保全の専門家をお招きをし、産業遺産の新しい保全の在り方を模索するための産業遺産国際会議を開催。

平成27年7月に、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」として世界文化遺産登録を達成。登録後は、多くの方に正確に理解して頂くための各種活動として、インタープリテーション戦略の策定・実施を推進している。

写真提供／産業遺産国民会議



「明治日本の産業革命遺産」世界遺産
ルート推進協議会 平成29年度総会



「明治日本の産業革命遺産」世界遺産
ルートをクラシックカーでめぐる
PR映像

No. 1 1 公益財団法人海外日系人協会

事業費募金（昭和52年度～）

本協会は、海外の日系人団体と各種の交流事業を総合的に行い、諸外国の対日理解を深め、各国間の親善及び相互の繁栄に寄与することを目的としている。

【公益目的事業】

1. 第58回海外日系人大会開催事業（東京、10月開催）
2. 内外日系社会広報事業（協会だより、WEBサイト）
3. 在日日系人対応事業
4. 日系社会との連携強化事業
5. 継承日本語教育事業
6. 各種あつせん事業 等

写真提供／海外日系人協会



第58回海外日系人大会
「歓迎交流会」



在日日系人のための
生活相談員セミナー

No. 1 2 社会福祉法人いのちの電話

事業費募金（昭和55年度～毎年）

困難や危機にあって、誰ひとり相談できる人もなく、自殺などのさまざまな精神的危機に追い込まれる人たちが、再び生きる喜びを見出すことを願いつつ、よき隣人として活動。

1953年に英国のロンドンで始まった自殺予防のための電話相談に端を発し、1971年に「東京いのちの電話」が設立され、日本で初めての電話相談事業が開始。

現在、約320名のボランティア相談員が、365日無休の電話相談、インターネット相談を行っている。また、ボランティア医師による電話医療相談も受けている。

この活動を担う相談員を毎年一回公募。相談員は1年半の養成研修を経て認定された後も月1回の継続研修を受けながら相談活動を続けている。

写真提供／いのちの電話



研修会 発達障害について



電話相談

No. 1 3 公益財団法人日本交響楽振興財団

事業費募金（昭和48年度～毎年）

わが国を代表する交響楽団による演奏会を各地で開催するとともに、アマチュアオーケストラの演奏活動を支援し、交響楽の魅力を広く伝える活動を行っている。今年度は特別支援学校を訪問して演奏する「特別支援学校オーケストラコンサート」も実施した。

■「巡回公演」を全国12カ所で開催

オーケストラによるクラシック音楽の演奏を聴きたいという要望に応え、わが国の代表的な交響楽団によるコンサートを各地で実施している。青少年や高齢者も気楽に聴けるように、入場料は通常のコンサートに比べ低く設定。ロマン派のピアノ協奏曲、メンデルスゾーンやチャイコフスキーなどのヴァイオリン協奏曲、モーツァルトやドヴォルザークなどの交響曲、さらにベートーヴェンの第九演奏会などと、今年度も盛り沢山の演奏会を提供した（写真参照）。

■「アマチュアオーケストラの演奏会」を全国5カ所で開催

地域の文化創造活動にとって欠かせない存在であるアマチュアオーケストラの活動を支援している。本年度は山梨交響楽団、半田市民管弦楽団、パツハホール管弦楽団（宮城県加美町）、米沢フィルハーモニー管弦楽団、広島市民オーケストラが行った演奏会を助成した。

■特別支援学校オーケストラコンサートを4カ所で実施

特別支援学校の児童・生徒たちは視聴覚や肢体などが不自由なため、街中のコンサートホールに出かけることはきわめて難しい。そこで、オーケストラ・アンサンブル金沢の協力を得て石川県と富山県の4つの特別支援学校を訪問し、オーケストラコンサートを開催した。会場となった体育館には、児童・生徒や先生のほか、保護者や地元の関係者も大勢詰めかけ、名曲の数々を聴くとともに、演奏に合わせてアニメソングや校歌を歌うなど、全員でコンサートを楽しんだ（写真参照）。

写真提供／日本交響楽振興財団



巡回公演（長野公演）



特別支援学校オーケストラコンサート

No. 1 4 日本聾話学校後援会

支援金募金（昭和50年度～毎年）

日本聾話学校は、1920年（大正9年）故・米国駐日大使ライシャワー博士の両親によって創設された我が国唯一の「聴覚主導の人間教育」を行う私立聾学校である。聴覚障がい児に乳幼児期からの早期教育と保護者への支援を行っている。

子どもたちは、ことばの獲得に最も大切な乳幼児期から、最適に調整された補聴器や人工内耳を装用し、残された聴力を最大限に生かして学習します。学校では、聴覚を通し日々の生きたことばのやり取りを積み重ねることにより、単にことばだけでなく子どものより良い全体的な成長発達を促し、社会の中で望ましい人間形成ができるようにサポートしています。当会はこの教育を支援するための後援会組織です。

■学校法人 日本聾話学校

所在地 東京都町田市野津田町

生徒数 93人（2018年2月1日現在）

- ・乳幼児部 28人
- ・幼稚部 20人
- ・小学部 32人
- ・中学部 13人

写真提供／日本聾話学校後援会



オーディオロジー部
毎朝の補聴器・人工内耳チェック



幼稚部 自由遊び

No.15 公益財団法人がんの子どもを守る会

事業費募金（昭和52年度～毎年）

本協会は、昭和43年10月に小児がんで子どもを亡くした親たちによって、小児がんが治る病気になってほしい、また小児がんの子どもを持つ親を支援しようという趣旨のもと設立され、子どもの難病である小児がんに関する知識の普及、相談、調査・研究、支援、宿泊施設の運営、その他の事業を行い、社会福祉及び国民保健の向上に寄与することを目的としている。

【主な事業】

1. 患児・家族支援の継続と時代のニーズに見合った各種支援事業の継続
2. 小児がん関連諸制度における未解決の課題等についての意見集約と改善に向けての行政に対する積極的な働きかけ
3. 本部と支部及び支部間の連携による地域活動の強化
4. 小児がんに関する情報の発信・提供等の広報活動の強化 等

写真提供／がんの子供を守る会



講演会



研修会



国際小児がんデー（啓発）

No. 17 公益財団法人警察協会

救済援護等事業資金募金（昭和49年～毎年）

本協会は、警察活動により被災した職員や一般人に対する救済援護事業を行うとともに、国民と警察が相協力し、豊かな社会を実現するための諸活動を行う。

【事業】

1. 救済救護事業

警察活動に協力援助したため災害を受けた方、及び警察執行務に当たり災害を受けた警察職員、並びにその遺族に対する救済援護事業

2. 教養援助事業

3. 広報活動事業 等

写真提供／警察協会



情報セキュリティ対策DVD
～トラブルを防ぐインターネット活用術～



情報セキュリティ対策DVD
～サイバー犯罪から自分を守るために～

No. 19 職業訓練法人全国建設産業教育訓練協会

富士教育訓練センター賛助会費（平成9年度～毎年）

富士教育訓練センターは、建設現場で直接「ものづくり」に携わる建設専門工事会社、設備会社、建設関連業団体（建設専門業団体）等22団体の賛同により、平成9年4月に静岡県富士宮市の旧建設省（現国土交通省）建設大学校朝霧校跡地に開校した、建設技術者・技能者の教育訓練施設。

富士山西麓の豊かな自然に囲まれた環境にあり、約5万平方メートルの広大な敷地と約1万平方メートルの施設からなる全国最大規模の建設関係教育訓練施設。

開校以来、「ものづくりは人づくり」という信念の元、業界、企業のニーズに応えるオーダー型の教育訓練を中心に実施することで、建設現場で活躍する優れた人材の育成に努めてきた。

教育訓練実績は、これまでに約18万人、参加企業は、延べ約7万3000社に及ぶ。

写真提供／全国建設産業教育訓練協会



土木施工実習



型枠加工実習

No. 20 公益財団法人全国教誨師連盟

事業費募金（平成7年度～毎年）

全国教誨師連盟は、教誨師（1,864名、平成29年1月1日現在）が矯正施設（刑務所、拘置所、少年院、少年鑑別所）において被収容者に対し精神的・倫理的・宗教的な教誨活動を円滑に行えるよう支援することを本旨としている。

教誨は自己の信ずる教義に則り、宗教心を伝え被収容者の徳性を涵養するとともに、心情の安定を図り、被収容者には自己を洞察して健全な思想・意識・態度を身につけさせ、同時に順法の精神を培い、更生の契機を与える。もって、矯正の実を上げ、社会の安定に寄与することを目的とする篤志宗教家の全国的組織である。

【主な事業】

1. 宗教教誨に関する調査及び研究
2. 教誨活動を充実発展させるための支援及び能力開発
3. 関係官庁、教宗団及びその他の関係機関との連絡調整並びに教誨活動に関する提言
4. その他公益目的を達成するために必要な事業

写真提供／全国教誨師連盟



第52回教誨師中央研修会



研修会記録誌

No. 2 2 上智大学アジア人材養成研究センター

アンコール・ワット西参道修復工事募金（平成28年度～）

上智大学は平成8年、現地にアジア人材養成研究センターを建設し、アンコール遺跡の保存・修復を行うカンボジア人保存官等の養成、およびカンボジアの歴史・文化・研究・調査し、日本とカンボジアの学術交流研究拠点とした。

平成8年にアサプラ機構（アンコール地域遺跡保存整備機構）と共に着工されたアンコール・ワット西参道（第1工区100m）の修復は、「カンボジア人の手によるアンコール・ワットの修復」を掲げ、カンボジア人保存官候補者に、土木・建築・考古の技能研修を実施しながら、石積みの建築技術を検証し、平成19年7月に12年かかって完成。困難な社会情勢のさなかにあつて、当時内戦後カンボジア人を元気づける文化復興のシンボルとなる。

その第2・第3工区の第2期工事が日本外務省のODA（一般文化無償資金協力：9,400万円）として採択され、遺跡修復に必要な機材が現場に届けられた。

【西参道修復工事概要】

- ・工事現場 西参道（アンコール・ワットの入り口参道）第2、3工区 100m
- ・工事期間 平成28年～32年（4年間を予定）
- ・総事業経費 7億円

写真提供／上智大学



アンコール・ワット西参道修復工事